



平成27年10月2日

報道関係各位

第1回「保存樹のことを考えよう」の集い 取材のお願い

秋冷の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

さて、本学の総合経営学部観光ホスピタリティ学科白戸ゼミでは10年にわたり、松本駅アルプス口周辺のまちづくりに地区の方々と共に関わってきました。

昨年からは、田川地区渚の樹齢600年を超えるけやきの木の保存に取り組んでおります。毎年落ち葉の時期になると、近所に落ち葉が拡散し屋根の塗料が落ちるなどの問題が起きているため、昨年度は小・中学生、地元の住民、本学の学生で落ち葉を拾い、たき火をしたほか、ケヤキをモチーフにしたスイーツの開発・販売を行ない、みんなの文化財として考えるきっかけにしました。

本年度は、引き続き落ち葉拾いを行なうとともにどうしたら地域の課題を解決し、けやきを後世に引き継いでいけるかについて学習会を行なう予定です。学習会は、地元の住民の方によって結成された「保存樹のことを考えよう」の会と松本大学けやきプロジェクトの共催によって開催します。今回は、安曇野市で屋敷林の保存に取り組んでいる「屋敷林保存を考える会」の等々力秀和氏を講師にお招きして今後の取り組みについても考えていきます。

つきましてはご多忙のところ誠に恐縮ですが取材をお願い致します。なお取材に際しては資料の準備等ございますので、下記あてにご連絡を頂けると幸いです。また地域を二分しかねないデリケートな問題でもあり、可能であれば事前取材して頂ければ、正確に経緯をご説明できるかと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

敬具

記

日 時：平成27年10月9日(金) 18:30～

場 所：松本駅アルプス口いばらん亭

内 容：安曇野市における屋敷林保存の取り組み・意見交換・今後の取り組みについて

参加者：地域住民・松本大学学生

主 催：「保存樹のことを考えよう」の会・松本大学けやきプロジェクト

連絡先：いばらん亭 0263-32-3786 (筒井さん)

■本件に関するお問合せ先

松本大学 白戸研究室 TEL 0263-48-7200(代表)